

中国の無形文化遺産・吉州窯の陶磁器が横浜で展示

人民網日本語版 2018 年 08 月 09 日 10:25



横浜の展示会場で見学者に作品の説明をする吉州窯陶磁器焼製芸術代表传承人(人間国宝)の劉品三さん（写真手前の左、8月6日、撮影・杜瀟逸）。

「吉州窯伝統芸術創新作品日本巡回展」がこのほど、神奈川県横浜市で開幕した。同展では、現代的な美的理念を伝統工芸と融合させた吉州窯の陶磁器作品が多数展示されている。日本の伝統的な美術の要素を盛り込んだ作品もあり、多くの日本の陶磁器愛好家が鑑賞に訪れている。新華網が報じた。

中国江西省吉安市吉安县にある吉州窯は中国古代の有名な窯跡の一つで、その陶磁器を製作する技術は、中国国家級無形文化遺産に指定されている。今回の巡回展は横浜のほか、京都、名古屋、茨城などでも開催される予定だ。（編集 KN）

「人民網日本語版」2018 年 8 月 9 日



見学者に作品について説明する景德镇陶磁大学の劉曉玉准教授(写真左、8月6日、撮影・杜瀟逸)。



日本の伝統美術の要素が盛り込まれた陶磁器作品(8月6日、撮影・杜瀟逸)。



横浜で展示されている吉州窯の陶磁器作品(8月6日、撮影・杜瀟逸)。



横浜で展示されている吉州窯の陶磁器作品(8月6日、撮影・杜瀟逸)。



横浜で展示されている吉州窯の陶磁器作品(8月6日、撮影・杜瀟逸)。



横浜で展示されている吉州窯の陶磁器作品(8月6日、撮影・杜瀟逸)。